

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議に警察や消防関係者が出席してもらい入居者を含めた地域住民に対する支援体制を構築し、地域の福祉拠点としての役割を担っていくことが求められている。	入居者を含めた地域住民に対する支援体制を構築し、地域の福祉拠点となる	運営推進会議に警察や消防関係者に参加してもらい、地域での福祉、防災について話し合い地域福祉の拠点となるように活動していく。	6ヶ月
2	12	早い段階から終末期の希望について、本人や家族とは話し合いをすすめているが入居者全員には希望は聞けていない。見取りについて職員の研修を積み重ねて施設で見取りたいとの希望にも対応できるようにならなければならない。	見取りを実践できる施設になる	早い段階から入居者様やご家族から終末期についての意向を伺い、介護計画書の内容に反映していく。職員の事業所内・外への研修を重ねていき、見取りまで行うことが出来る職員を育成していく。	12ヶ月
3	13	消防訓練に地域住民の参加者が少人数である。	非常災害時にも住民の協力が得られるように協力体制を構築する	消防訓練、運営推進会議にも地域住民に参加してもらい災害時に協力してもらえる関係を作っていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。